

## 第26回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 平成28年 6月22日（水） 午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女 会議室
- 3 出席者 出席者総数 7名  
委員総数 7名  
出席委員（3名） 青木歳男 近藤雅哉 酒井裕樹  
  
レポート提出委員（4名） 荒川真美 吉武信博 篠原加代 吉川勝也  
放送事業者側出席者（4名） 小柳幸博 高木祥平  
中村絵梨香 木下晴菜
- 4 議題 番組「がまだすワイド801」  
6月14日（火）12：30～15：00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた  
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 地域密着型情報番組
- 7 審議内容
  - ・全体的に非常に楽しかった。
  - ・パーソナリティが女性三人という非常に華やかな放送だった。年齢も幅広く、話されている声も誰が喋っているのかわかりやすく、良かった。
  - ・女子会のような楽しい雰囲気最後まで聞いた。
  - ・ゲストがリレーしていくコーナーでは、ゲストの女性が緊張しているようだったが、パーソナリティの明るい質問で緊張がほぐれていくのが分かった。
  - また、普通の女性だが、パーソナリティの質問で、興味深い魅力的な女性の印象へ変わった。温かい気持ちになった。
  - ・900人以上続いているという事だが、出演してもらうことでリスナーにもなってもらえるいいコーナーだ。続けてほしい。
  - ・小学校の給食を言うコーナーは、意図が分からない。話が広がるのかと思ったら広がらなかった。脱脂粉乳の話は面白かった。

・給食のコーナー・学校を訪問するコーナー共に懐かしく思った。将来の夢を語る子どもがとてもしっかりしていることに感心した。

・学校を訪問するコーナーのターゲット・コンセプトが分かりにくい。

・聞いているのはほぼ大人なので、子どもの世界、本音を聞きたい。

・子どもがかしこまりすぎているのでは？

・「小学生＝将来の夢」というイメージで聞き始めたが、その通り10人の6年生の夢を語り、校長先生の気合いをいれた学校自慢で終わった感じがする。

・せっかくの学校訪問であれば、なるべく続けるような工夫が必要ではないか。例えば、学校の中に大きな桜の木があって、その事を子どもたちにインタビューして、子どもが自慢し紹介するなど。校長先生の話はあまり必要ないと思う。

ただし、校歌の紹介は非常に良い。多くの卒業生が地元に残っている市民リスナーや市外に出たリスナーにとっても懐かしいと思う。

・「学校訪問」というコーナー名は、普通すぎる。

・子供の将来の夢を話す際、あまりにも動きがないと感じた。弁論大会ではないので、普段通りの話し方で聞けるようにすべきと感じる。小学生の元気が伝わってこない。

・絵本の紹介は、どれも本の魅力が伝わってきて、子どもに読み聞かせしたいと思えた。

・パーソナリティの話が上手で本のイメージもしやすかった。

・絵本の紹介は、大好きなコーナー企画。小さな子どもを持つ親だけでなく、大人でも十分に楽しめる内容だ。

・ソフトバンクホークスを紹介するコーナーでは、ゲストに関係者を迎えての話で面白かった。関係者から選手の声・気持ちを伝えてもらえるというのは非常に良い。

・チーム・選手の活躍、応援する気持ちが伝わってきて良かった。

・タマホーム スタジアム筑後での選手との距離の近さの話聞いて行きたくなった。

・パーソナリティの詳しい野球解説も良かったが、それ以上に実際球団関係者に出演してもらえるということは大きい。今後、非常に期待が持てるコーナーだ。定期的に球団関係者に出演して頂き、将来は選手をスタジオに呼べればもっと盛り上がる企画になると思う。

・オリンピックイヤーなので、様々なスポーツに取り組む人、子どもたちにスポットを当ててみるのも良いのではないか。

・プレゼントキーワードを言う際、リバーブが効きすぎて聞き辛い。

また、語尾は伸ばすのか伸ばさないのか、もっとはっきりと分かり易く言って欲しい。

・フリートークの内容やメッセージは楽しく聞くことが出来た。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 8月25日（木） 午後4時00分

場所 FM八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------